ふるさと物語で
こころを育み 未来につながる

OUMIJINKO

おうみのふるさと物語プロジェクト

おうみ未来塾 １２期生

グループ名：**おうみのふるさと物語プロジェクト**

石川 輝伸	編集委員
佐藤 麻里	記録
塩田 余侍美	サブリーダー
橘 晃照	記録
樋上 真吾	サブリーダー
山川 弘光	会計
山本 一男	リーダー
山本 周作	記録

活動の基本方針

■ありたい姿

土地の風土に合った、愛があるまちづくり

■ありたい姿へのアプローチ

個性と魅力が詰まった「ふるさと物語」の発掘・編集・普及。

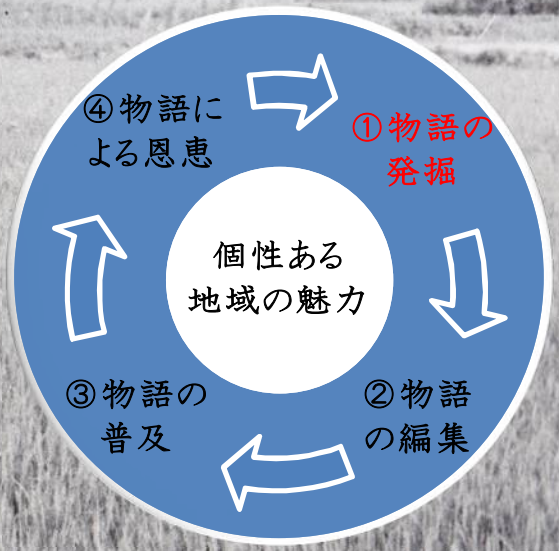
■「ふるさと」とは

■「ふるさと物語」とは

土地の風土に合った 愛があるまちづくり

活動の実践

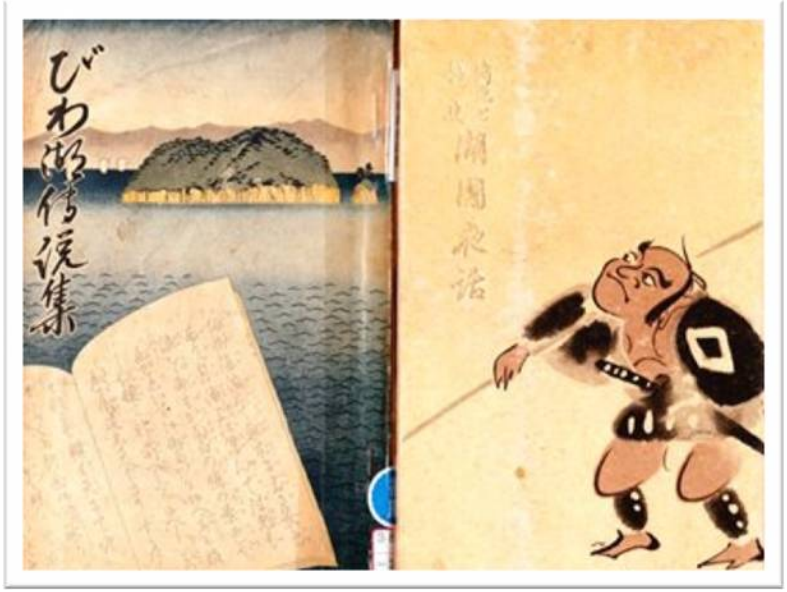
①物語の
発　掘



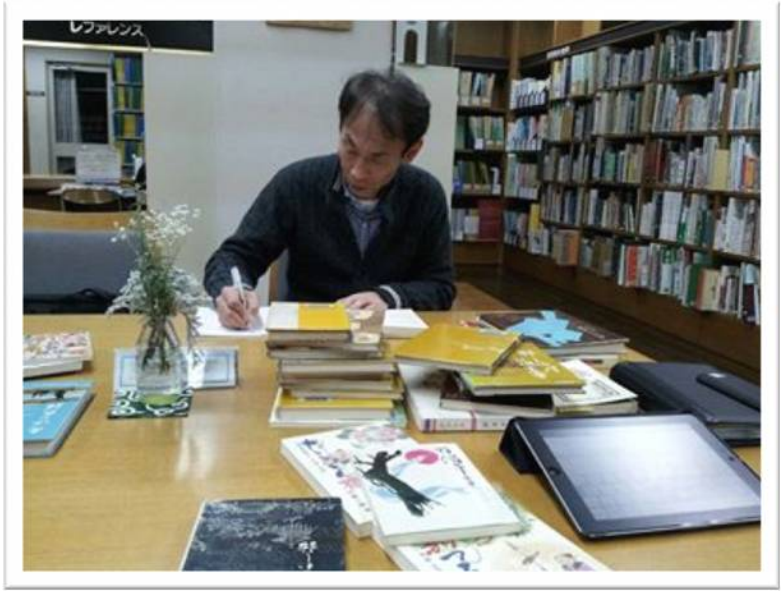
地域の物語や里唄（地域で歌い継がれたわらべ唄・しごと唄・まつり唄）を、古老や図書館から発掘し、現地調査や文献調査で確認する。

滋賀県内民話の調査（2月～4月）

古老への聴き取り



古書の発掘



図書館で発掘

石碑文献の発掘

滋賀県内民話の調査（2月～4月）

	分類	タイトル	誰が	ものがたりについて いつ	どこで	あらすじ	関連 直接など	関連 ゆかりのある場所	出現情報 エリア	地域	開発形成	由来
1	伝記	高千穂万左衛門	高千穂・高千穂万左衛	江戸時代	岡崎市周	徳川家康の[illegible]の[illegible]を[illegible]ていた。[illegible]。	中江藤樹の教え	中江藤樹記念館	湖西(高島)	安曇川周	石津ふるさと[illegible]	中江藤樹記念館
2	伝記	高橋屋の物語	中江藤樹・高橋屋	江戸時代	梅村の新道沿い	高橋屋は[illegible]。[illegible]。[illegible]。

野洲川下流域の民話の調査(4月～)

	物語名	ゆかりの場所
①	おツブさん	笠原
②	河童太郎物語	吉川
③	ゆうれいつぼ	赤野井
④	お満燈籠	今浜

野洲川下流域の民話の調査（4月～）

おツブさん（笠原）

河童太郎物語（吉川）

ゆうれいつぼ（赤野井）

お満灯籠（今浜）

野洲川下流域の民話の調査（4月～）

フィールドワーク

語り部から学ぶ

ホームページに掲載

でんくうの会から学ぶ

活動の目的と意味、そして、ふるさと物語について地域に住む多くの方に知っていただけた。

産経新聞　2013年(平成25年)7月23日　火曜日　滋16版　社会2　32

伝承発掘 広がれ郷土愛

おうみ未来塾生 企画

HPに県内800話「まちづくりに活用」

地域の課題解決を担う人材を育成する「おうみ未来塾」の塾生が、滋賀県内に残る民話や民謡などを発掘し、まちづくりにつなげる取り組みを進めている。消えゆく伝承をよみがえらせ、地域への誇りと世代間交流を深める試みで、メンバーは「人の営みが自然とともにあったことを郷土物語は教えてくれる。地元への愛着を育みたい」としている。

同塾は、淡海ネットワークセンター(大津市におの浜1丁目)が主催。12期生の8人が昨年12月、地元に眠る昔話などを掘り起こし、普及させる「おうみのふるさと物語プロジェクト」を立ち上げた。

「おうみのふるさと物語」のホームページ

国選択無形民俗文化財の「すし切り神事」が営まれる下新川神社を訪れたメンバー(4月、守山市)＝おうみのふるさと物語プロジェクト提供

メンバーは今年1～5月、県内全域で文献などを調べ、800話の物語を収集。題名やストーリーなどを地域別に整理し、ホームページ(HP)で閲覧できるようにまとめた。

中でも、大規模な河川改修の影響で言い伝えが消えつつある野洲川下流域に焦点を当て、「野洲川物語」を作成。HPでは、村の娘を川の神にささげて洪水を鎮めたと伝わる「愛の内明神　ちりんさんの池」など、野洲川とゆかりの深い物語を掲載した。流域に残る子守歌「竹馬よいち」や、けんか歌「新庄来い」などの民謡も、地元の風景や歌を交えた映像で紹介している。

8月18日には野洲市内で住民による民話の語りや、同プロジェクトの活動紹介、民謡の披露などを企画した催しを開く。

今後、「ふるさと物語活用推進協議会(仮称)」を立ち上げ、取り組みを広げていく方針という。

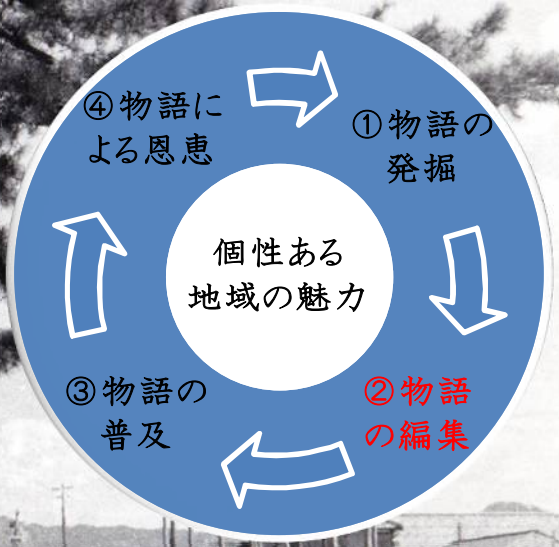
同プロジェクトのリーダーを務める会社社長山本一男さん＝大津市＝は「物語に込められた自然への畏敬はまちづくりだけでなく、防災にもつながる」と話す。

HPはhttp://ohmi-furusato-monogatari.jimdo.com/

(山本旭洋)

②物語の

編　集



物語や里唄を、調査結果と照らし合わせ、今の私達が楽しめるふるさと物語に編集する。

「むかし話」によるふるさと物語の編集

1．発掘した昔話の再話

2．すでにある紙芝居を活用

3．物語のうまれた場所の紹介

亀吉とお松の夫婦は、ねんごろに鶴の夫婦を屋敷の片隅に埋めて冥福を祈りました。

やがて亀吉、お松の間には丸々と太った逞しい男の子に恵まれて、桃太郎さんのように育てました。

それから後は亀吉の殺生もやみ、太郎を中心に家庭円満で笑いのある日々を送ったといいます。

今も尚野田の里には約一町五反ほどの区画の地を田鶴来と呼んでいます。お松の信心は今も尚湖岸の豊田に豊かに深っているようです。

十六　河童太郎物語り

「河童太郎は昔からカッパのことであるが、古来吉川ではガワタロウと言って七月の祇園祭りの日には湖水や堀で水遊びをするな、尻に喰いついて血を吸いよるぞと言われたものでした。」

○ガ太郎松の話

吉川西念寺十五世の住職に正道法師がありました。非常に立派な逞しい躰の持主で、馬を大変かわいがっていました。村人達は「念仏正道さんの馬がござった」と言って噂すのでした。

正道さんは毎日お朝事の念仏をすますと、愛馬に乗って野洲川堤を琵琶湖辺まで真一文字に下り野洲川の湖に臨むハツ崎で馬に水を呑ませて中瀬（吉川地名）から戻るのが楽しい日課でありました。

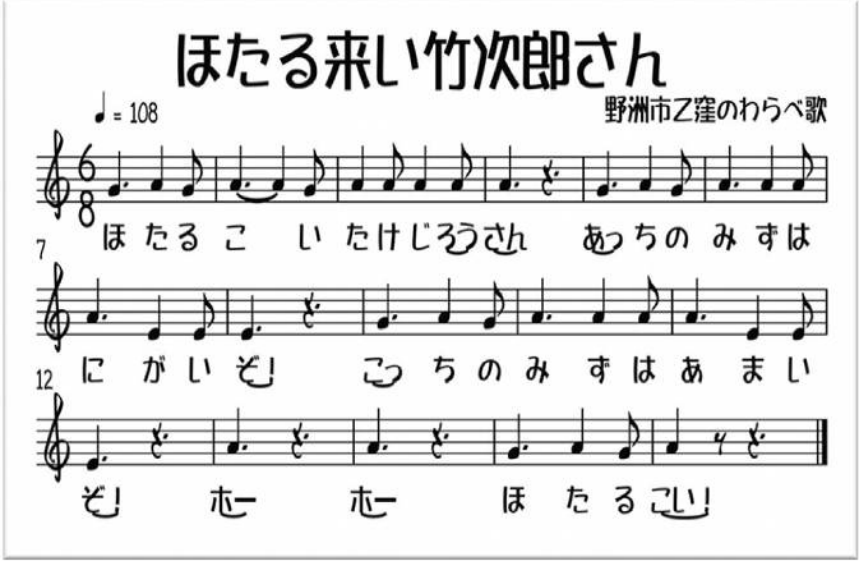
ある日のこと、いつもの道をハイ、シッ、ハイシッと走っていきました。すると彦右エ門蔵のあたりに正道さんの所有の藪があります。その藪の近く野洲川から水を引くオヅルの樋がありますこの樋から巾六尺（約一・八メートル）の導水路の小川がありますが、この樋の口に水がボクボクと噴き出しています。静かな馬の綱をさせながら馬上の正道さ

「里うた」によるふるさと物語の編集

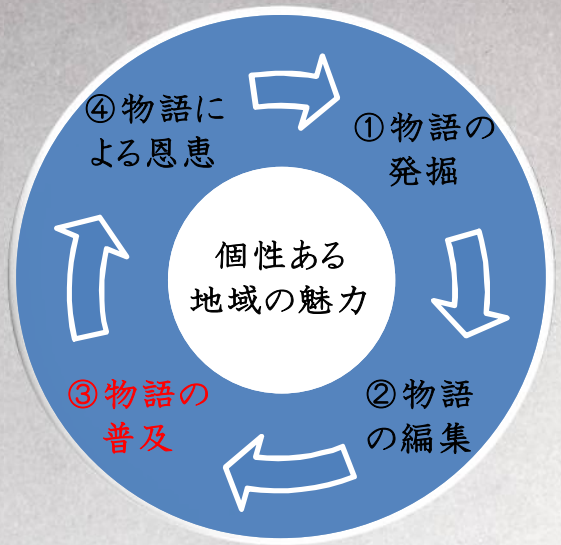
1．音声・映像の編集

2．楽譜化

3．地域の映像と共に見える化



③物語の普及



語り部の会やホームページを利用した発信などで、ふるさと物語の普及を図る。

語り部の会　八月十八日

野洲川物語 ～昔と今～

ふるさと物語よ！甦れ

子どもによる里唄の披露

里唄が物語る昔の風景

幅広い世代が集う

語り部の会　十一月

野洲川下流域周辺の物語

民話、民謡知り

野洲川
る民話や
とで、地
育み、ま
なげても
日、守山
の中山道
館である
「おう
物語プロ
メンバー

おう

た守山
うれい
る話や、
の際に
ち歌」
披露す

ーダーを務める会社社長山本一男さん＝大津市＝は「自分が住む土地の歴史を知り、地元に誇りや愛着を感じてほしい。それがひいては、まちづくりの原点になると思う」と話す。午前10時～正午。入場無料。（田代真也）

催しの
メンバー
流館）

守山市にある古民家でーす！
今日は「ふるさと物語」を
楽しんでいるみたいやで！
ちょいと、のぞいてみよまいか！

活動紹介ビデオ

⑩臼すり歌：守山市矢島

臼すりこすり　荒野のもがり①
一杯すったら　寝ようまいか
よそのも寝やはった
うちのも寝ようまいか
グーグーグーグー②
コケコッコー③
よそのも起きはった
うちのも起きましょう
（最初から繰返し）

臼すり作業を模倣した
踊り付きのわらべうた。

語り部の会　十一月

野洲川下流域周辺の物語

唄遊びをみんなで楽しむ

昔遊びで多世代交流

紙芝居の語り

昔道具の体験

語り部の会　十月二十七日
安土 楽市楽座館

安土 楽市楽座館

約20名が参加

他団体(シガモリ)の依頼で実現。
参加者からふるさと物語が描く世界を楽しめ、
昔を懐かしむことができたと好評。

皆様から頂いたご意見（アンケートより）

Q3　「野洲川物語 ～昔と今～」を聞いて、もっと知ろうと思いますか？

思う。上流、中流の話にも展開してほしい。

Q5　実際に「野洲川物語 ～昔と今～」参加してみて、いかがだったですか？

与謝の語り部さんが実体験を含めて熱く語っていただいたり
紙しばいや民謡の生の歌声など趣向を凝らした素晴らしい内容でした。

Q5　実際に「野洲川物語 ～昔と今～」参加してみて、いかがだったですか？

民謡はほとんど知りませんでしたので、新しい発見でした。

Q3　「野洲川物語 ～昔と今～」を聞いて、もっと知ろうと思いますか？

まだまだ発掘されていない昔話や民謡が残されていると思いますので、
続けての作業をお願いします。

Q5　実際に「野洲川物語 ～昔と今～」参加してみて、いかがだったですか？

おばあちゃんの話を聴きに来たつもりでしたが、
恵みの話が印象的でした。第2弾 第3弾と楽しみにしています。

Q5　実際に「野洲川物語 ～昔と今～」参加してみて、いかがだったですか？

（ 野洲川（周辺）の歴史を懐かしく振り返ることが出来ました。
感謝 ）

Q5　実際に「野洲川物語 ～昔と今～」参加してみて、いかがだったですか？

（ 興味深く聞かせて頂きました。地元のことなので具体的な話に実感も湧き
地域に対する愛着が増した気がします。

Q6　その他コメント

（ 現在編集中の野洲川物語の全ぱうが見れることを期待しています

Q5　実際に「野洲川物語 ～昔と今～」参加してみて、いかがだったですか？

（ 良かったです。もっと学びたい

Q6　その他コメント

（ 話をきくのも面白かったが、できれば午後希望者だけでも
「樋」「白噴池」などの現地の「まち歩き」があればもっとよかったと思う。 ）

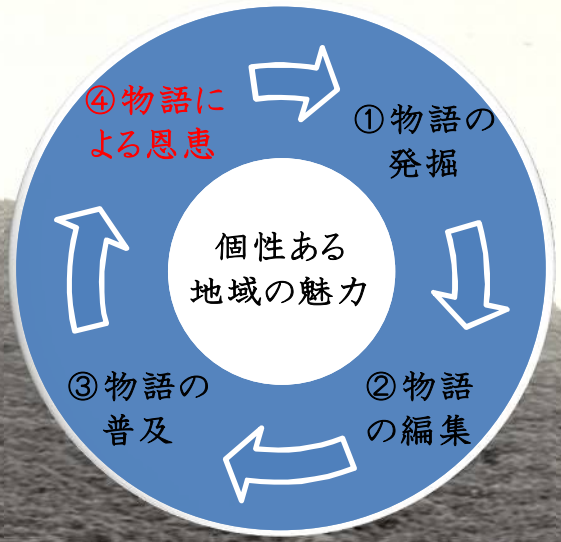
ふるさと物語を体感し、地元を知り誇りをもって継続的にかかわりたいという意見が多かった。

インターネットや物語通信の活用

1. ホームページ・ブログ開設
2. 紙芝居の動画サイト
3. 里うたの動画サイト
4. ふるさと物語通信の発行

④物語による

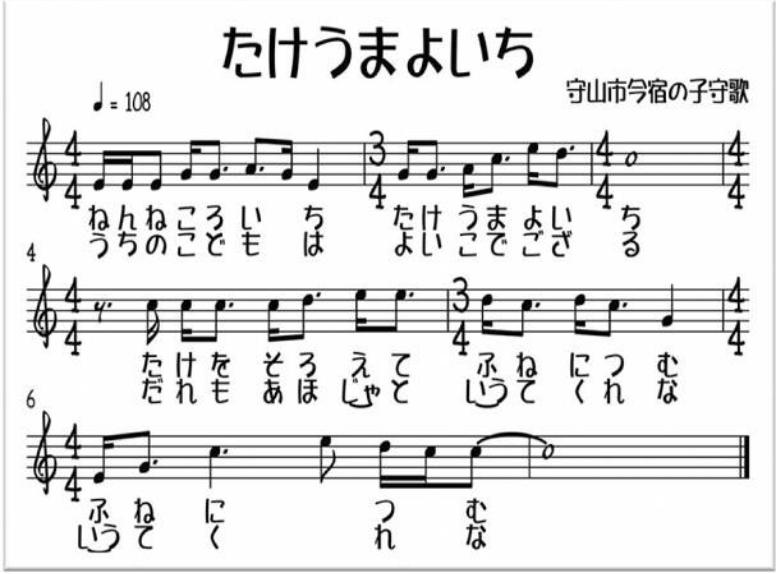
恩　恵

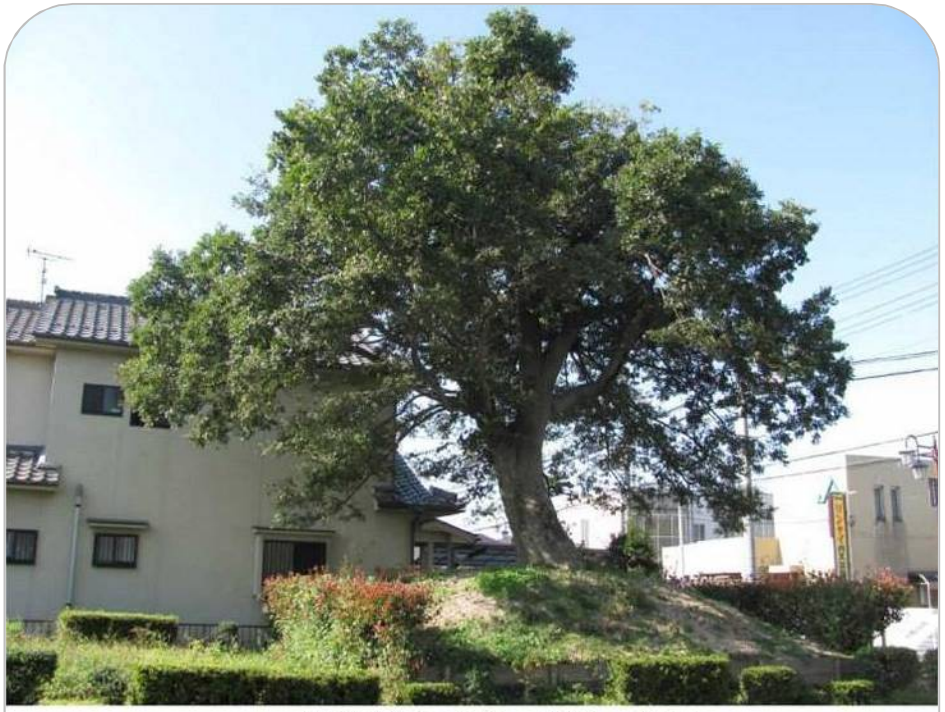


ふるさと物語の普及を通じて、地域愛をあたためふるさとの魅力を再認識して、まちづくりにつなげるお手伝いをする。

里うた活用による地域活性化

■地域のイメージソングとして活用





滋賀県内で唯一残る一里塚
中山道の街道町・中山道街道文化交流館の隣町

ふるさと物語による地域活動の支援

■安土「楽市楽座館」 6周年記念祭

開催日：2013年12月8日

場　所：楽市楽座館

要請を受け、語り部の会を開催。

■「野洲川でんくうの会」8周年記念イベント

開催日：2014年8月

場　所：野洲川田園空間センター

要請を受け、語り部の会を開催。

■野洲市 学童保育文化祭（予定）

ふるさと物語による地域活動の支援

活動が認知されてきた。
地域の公民館などからの依頼も増えてきた。

語り部の会で多世代交流

すでに活動している団体との協働

皆様から頂いたご意見（メッセージ）

ビデオメッセージ

活動の実践から見えてきた
課 題

（1） 地域への浸透

①地域とのつながりを深めていく。（恩恵）

②ふるさと物語を、自分たちの大切なモノに してもらう活動にする。（恩恵）

（2） 「ふるさと物語」のデータベースの構築・活用

①物語の調査（発掘）

②物語の再話化、デジタルコンテンツ化（編集）

③インターネットによる情報発信の管理運営（普及）

④データベースの管理改善（普及）

（3） まちづくりへの寄与

①市民団体との連携、県下全域へ広める（恩恵）

②行政と連携したまちづくり（恩恵）

卒塾後の活動に向けて

（1）「ふるさと物語」活動を卒塾後も継続します。

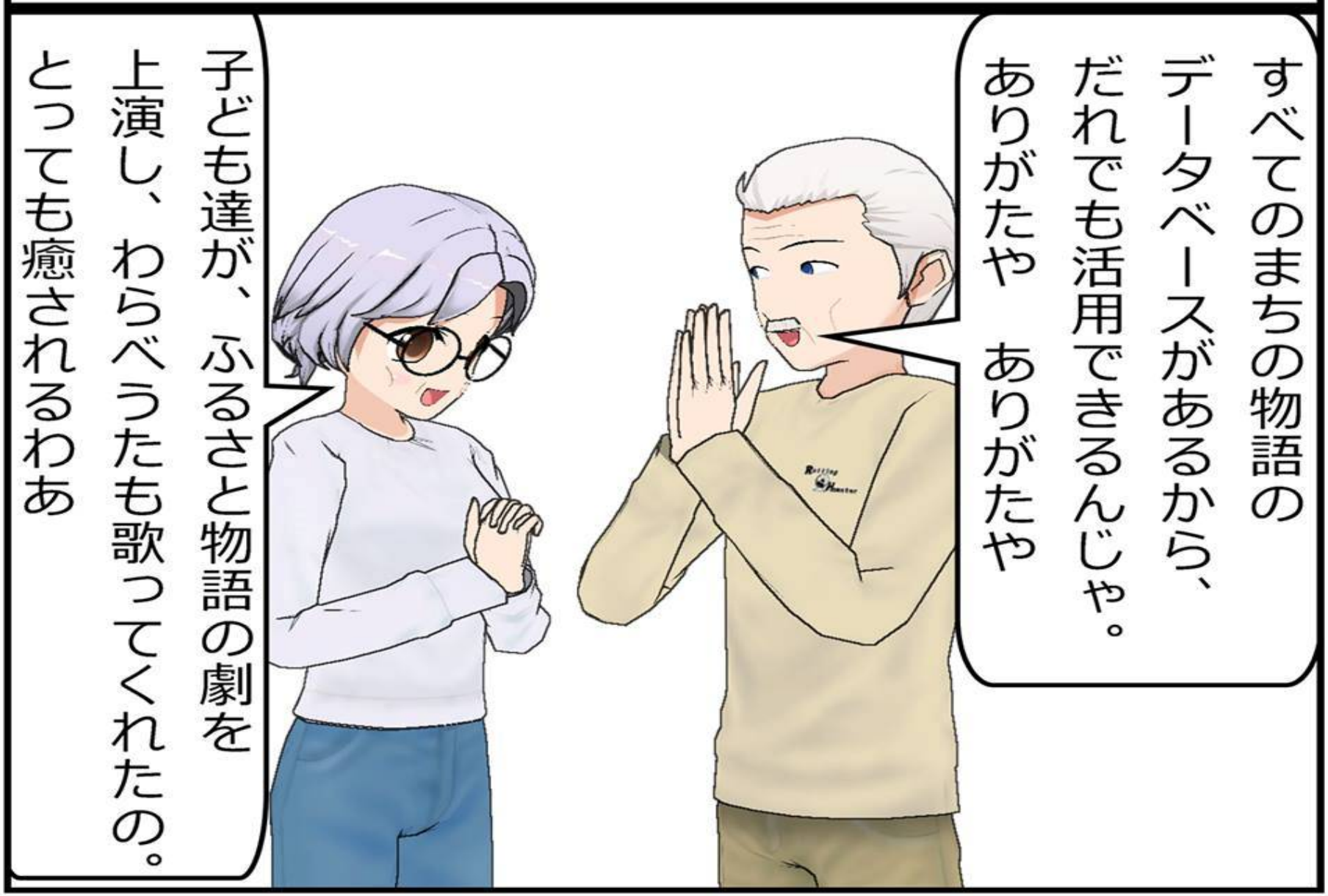
（2）「ふるさと物語」を通じて仲間の輪を広げます
・ふるさと物語活用推進協議会の設立
・ふるさと物語コーディネーターの育成

（3）「ふるさと物語」をまちづくりに活かします
・観光資源としての活用
・多世代の交流の場づくり

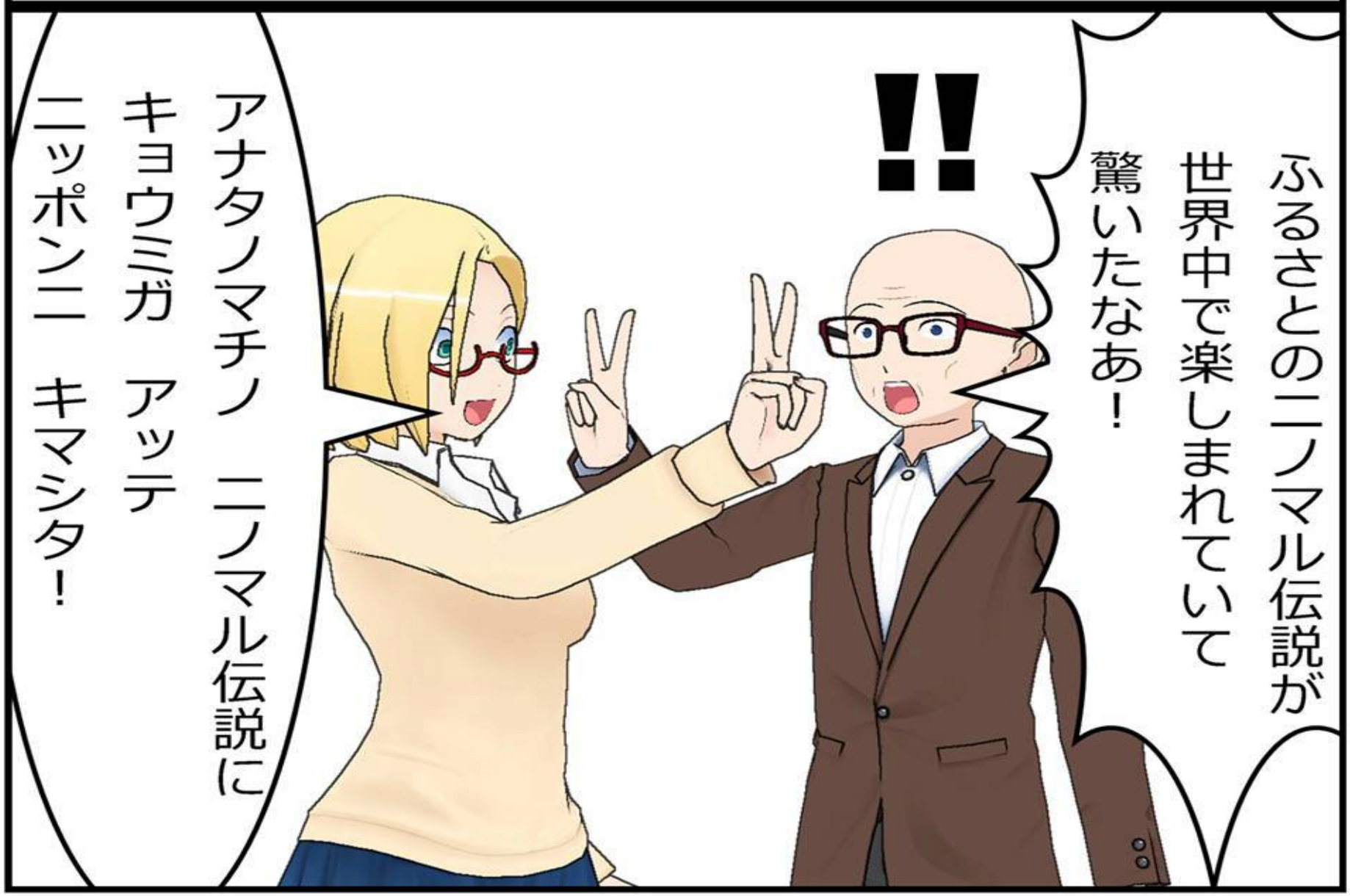
㋑語り継がれるふるさと物語

⑥ふるさと物語のデジタルコンテンツ

㊅ふるさと物語のデータベースの活用



㊁物語による観光促進


ふるさとのニノマル伝説が
世界中で楽しまれていて
驚いたなあ！
!!
アナタノマチノ　ニノマル伝説に
キョウミガ　アッテ
ニッポンニ　キマシタ！

ふるさと物語で
こころを育み
未来につながる
おうみのふるさと物語プロジェクト